

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 (14)	言葉かけについては、最近乱れた表現が見受けられ、記録の漏れ、身だしなみ等基本的なことがおろそかになっている。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な挨拶の言葉を励行する。 2. 身だしなみを整え、励行する。 3. 記録の漏れをなくす 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 挨拶の言葉を明文化して、上席者はもとより職員間相互で注意する仕組みを作る。 2. 身だしなみのルールを明文化し、徹底する。 3. 記録の遺漏なきよう、ヒューマンエラーはもとより、仕組みそのものがこれを支援するような仕組みを作る。 	12ヶ月
2	40 (15)	調理中に入居者とコミュニケーションをとりながら調理を行っているが、アンケートにある食事についての意見を真摯に受け止める。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食事について、味はもとより、見栄え、バリエーションに富んだものにする。 2. 食事づくりや、食事を通じて入居者各位の機能に資する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の食事について、統計や分析を実施し、客観的にどのような傾向で供されているか把握する。 2-1. 傾向を見極めたうえで、見栄え、バリエーションを増やすため、現在調達している食材の中から、入居者とともに調理が行えるレシピを作る。 2-2. 現在調達している食材の中で、見栄え、バリエーションを増やることが困難な場合には、これまでの食事のないレシピを作り、これにあわせて食材の調達手法を変える。 	12ヶ月
3	2 (2) 28	<p>前年度の目標達成計画が達成されていない。</p> <p>1については、平成23年3月11日の震災もあり近隣へのアプローチがされなかった。2については、個別ケアそのものに対する認識不足であり管理者としての指導不足が原因 以下前年度目標</p> <p>1、地域のつながりがまだ薄く、地域における当ホームの役割が浸透していない。</p> <p>地域の人たちが、気軽に尋ねてくれるような開放されたホームになっていきたい。地域の小学校・中学校に、職場体験学習などのお誘いをして、地域交流をさらに深めていきたい。</p> <p>2、個別ケアが、全ての利用者にまんべんなくおこなえていない。表層に表われているニーズだけでなく潜在的なニーズを追及していきたい。実現可能なものは実施し、当ホームで、充実した生活が送れるよう支援したい。</p> <p>担当者を中心に、利用者のニーズを引き出し、ケア会議などで話し合っていきたい</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別ケアの実践 2. 可能なところから実践 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 優先順位1の目標と親和性が高いが、グループホームケアの基本に立ち戻り、まずは個別ケアについて職員にアカデミックに指導したうえで、実践する。 2. 地域との連携において、グループホームケアの趣旨に立ち戻り、地域の人々に働きかけを行う。具体的には、現在協力頂いている運営推進会議のみならず、火災等の避難訓練の協力や参加の呼びかけ、災害時を想定した避難誘導、炊き出し等の事業を企画し、町内会組織と協議し、可能なところから実践する。 	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。